

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/09/20

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.13	-0.23
JPY/THB	0.2323	-0.0022
USD/JPY	142.63	0.34
EUR/THB	36.99	-0.10
EUR/USD	1.1162	0.0043
USD/CNH	7.072	-0.024
SGD/THB	25.67	-0.10
AUD/THB	22.58	0.02
USD/INR	83.69	-0.07
USD Index	100.61	0.02

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.205	-0.007
10Y (THB)	2.507	-0.015
5Y (USD)	3.483	0.000
10Y (USD)	3.713	0.009

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,590.9	16
WTI (Oil)	71.95	1.04
Copper	9,515.0	114.5

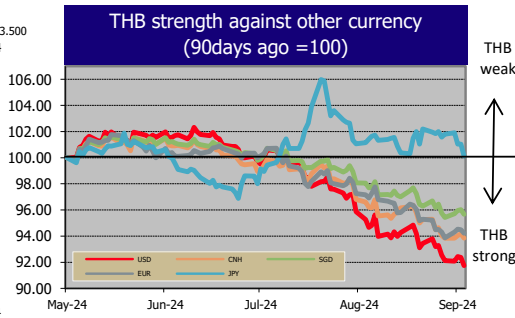
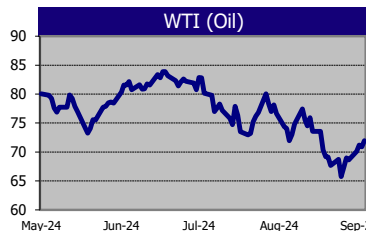
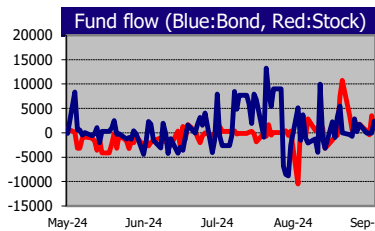
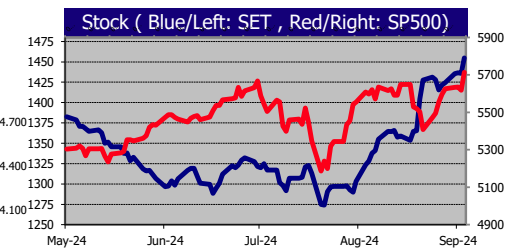
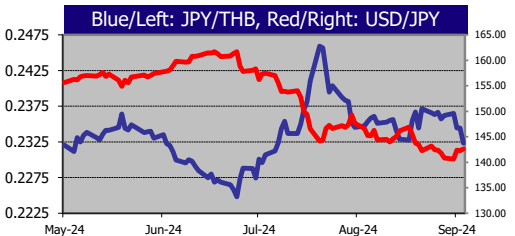
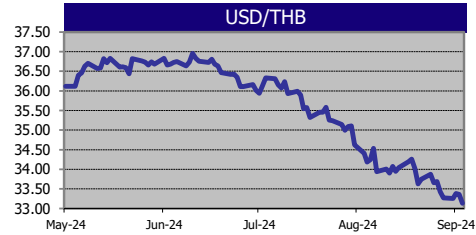
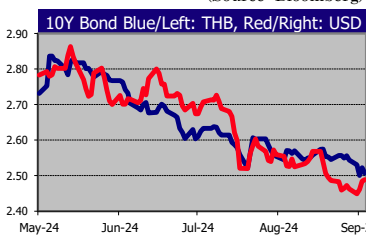
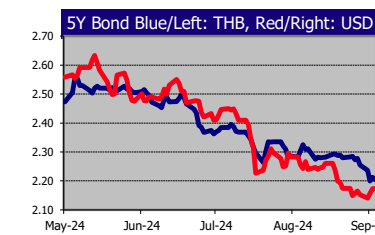
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,454.84	19.07
NIKKEI (JP)	37,155.33	775.16
DOW (US)	42,025.19	522.09
S&P500 (US)	5,713.64	95.38
SHCOMP (CN)	2,736.02	18.74
DAX(GER)	19,002.38	290.89

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,038	-2455.9
Bond net flow	2,370	2435.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。33パーツ台前半でスタート。タイSET指数が昨年9月以来の高値を更新したことを横目に、バンコック引けにかけてドルパーツは33パーツちょうど付近までじりじり下落。その後はドルが買い戻される展開となった。NY時間午前中に米新規失業保険申請件数が約4か月ぶりの低水準となったことを受けて、米金利の上昇とともにドル買いが一段と加速したが、その後米金利が低下に転じたことから、ドルパーツは反落。引けにかけて横ばい推移が継続し、33.13レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅上昇。142円台前半でスタート。FOMC通過後のポジション調整と思われる動きが入り、東京仲値にかけてドル売りが先行し、ドル円は一時144円手前まで上昇した。その後、下落に転じる場面もあったが、東京引けにかけて再度上昇する動きを見せ、欧州時間には再び143円前半まで戻した。NY時間には米新規失業保険申請件数が予想を下回ったこともあり、米金利の上昇とともにドル円が143円台後半まで上値を伸ばすも、終盤にかけては米金利が低下に転じたことを受けて反落し、結局142.63レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、0.50%の利下げを決定したFOMCの結果を受け、ドルパーツは序盤こそドル高パーツ安の動きを見せるも、早々に反転し、足もとではパウエル議長の会見が始まる前とほぼ同水準まで戻す展開となっている。要因の一つとして、もともと今年5回(0.25%×5)の利下げを見込んでいた向きが今回のFOMCを経て、思惑を修正するどころか、その織り込み度合を高めていることが挙げられよう。FF金利先物市場では、今年残り2回のFOMCで約2.9回の利下げを織り込んでいる。ただ、今回発表されたドットチャートを見ると、FOMCメンバーの予測中央値は今年の利下げ回数は4回となっている。加えて、来年(2025年)の予測中央値も4回の利下げとなっており、これは前回(6月)の予測と変わっていない。FOMCメンバーの利下げを急ぐスタンスが読み取れず、かつFOMC前の米8月小売売上高をはじめ、米経済の大幅な低迷も見られない中、足もとの市場の織り込みは行き過ぎと感じざるを得ない。パウエル議長によれば、今後の利下げペースはデータ次第とのことであり、データを確認していく過程で、市場の思惑が修正され、ドルパーツも調整される展開を警戒しておきたい。(末廣)